

日本のモノづくりを支える素形材産業

INTERMOLD 2025

16日-18日

東京ビッグサイト

技術連携で変革をリード

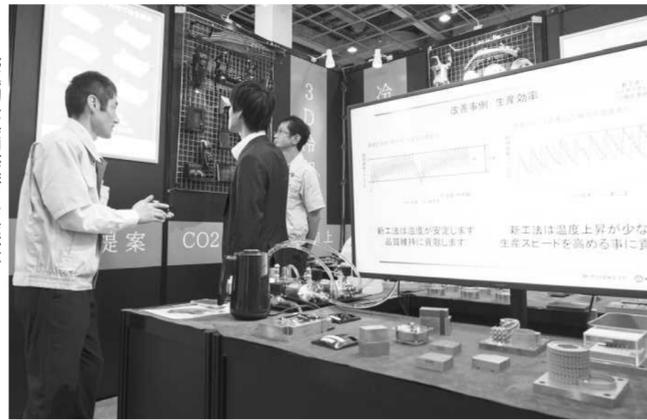
素形材の最新技術集結

金型展2025

金属プレス加工技術展 2025

AM EXPO 東京

ADDITIVE MANUFACTURING EXPO TOKYO



先進的な金型技術に興味津々 (2024年大阪会場)

金型や金属プレス加工に関する四つの展示会「INTERMOLD 2025」(第36回金型加工技術展)、「金型展2025」、「金属プレス加工技術展2025」、「AM EXPO東京」が、16日から18日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟4-5ホールで開催される。INTERMOLDと金型展は日本金型工業会、金型や金属プレス加工に関する四つの展示会「INTERMOLD 2025」(第36回金型加工技術展)、「金型展2025」、「金属プレス加工技術展2025」、「AM EXPO東京」が、16日から18日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟4-5ホールで開催される。INTERMOLDと金型展は日本金型工業会、

多彩なセミナー・講演
会期中は連日、多彩なセミナーや講演、企画などが行われる。16日11時からレセプションホールで、基調講演「日本金型産業のさらなる競争力強化に向けて」プレス金型業界横断の共通基盤づくりを開く。トヨタ自動車モノづくり開発センターの大澤晋一郎部長、日産自動車生産技術開発本部プレス技術部の岡本辰也部長、マルスンの鈴木将生社長らが登壇する。



講演やセミナーも多数開かれる (2024年大阪会場)

「ロボット・AI活用」生産性向上
会場内では「ロボット・AI活用」の専門フェアでは自動化をテーマに、協働ロボット、産業用ロボット、自動搬送ロボット、システムインテグレーション、画像解析ソフト、AI(人工知能)システムなど、生産性の向上や品質管理などに貢献するロボットやAI関連の製品を紹介する。ロボットやAI技術を活用することで材料使用量の最適化、不良品をリアルタイムに検出する品質管理、機器の故障予測を行う予防保全など、ダウンタイムが減り、生産性の向上が期待できる。人材不足、技術の継承、高付加価値追求といった課題を抱えるモノづくり中小企業に向けて提案する。

AI・ロボ活用-中小に提案



金型産業や金属プレス加工技術への期待はますます高まっている (2024年大阪会場)

「プラスチック部品製造技術フェア」では、射出成形機、押出成形機、原料混合・供給装置、ホットランナー装置、樹脂原材料、表面加工・コーティングなど、プラスチック加工に関するさまざまな製品やサービスを紹介します。プラスチックは自動車などの大型製品パーツをはじめ、素材の特徴を生かした医療機器や半導体部品の需要も高まっており、その成形技術に関心が集まっています。また生分解性プラスチックやバイオプラスチックといった環境負荷軽減に寄与する次世代素材の活用も進められています。そこで、インターモールドの強みである「金型加工」と「部品製造プラスチック」の成形を中心に、部品加工メーカーや自動車・医療・半導体など樹脂製品に関する企業に向けて提案する。

特別講演およびテクニカル・ワークショップ プログラム (一部抜粋・第3会場でも開催)

会場	4月16日	4月17日	4月18日
第1会場	10:30-12:00 AMで新しいモノづくりのゴールドラッシュが来る! 実用化している樹脂AM (3Dプリンティング) SP	10:30-12:00 自動車産業のCASE展望 SP	10:30-12:00 AMで新しいモノづくりのゴールドラッシュが来る! 実用化している樹脂AM (3Dプリンティング) SP
	13:00-14:00 Challenge to the future ~工作機械メーカーからの提案~① SP	13:00-14:00 ギガキャストの技術的特徴と当社の取り組み SP	13:00-14:00 世界のバイオプラスチック活用の現状と展望 ~米国、欧州の最新動向 SP
	15:00-16:00 MBD推進センターが考える「これからの自動車開発と中小企業様の競争力向上への期待」とは SP	15:00-17:00 変化を拒む企業が消えていく時代: 経営者の決断力が試される瞬間 Additive Manufacturingがあなたの会社を100年企業に脱皮させる SP	15:00-16:00 金属プレスシミュレーションによる金型造形プロセスの改善と立案検討の効率化 TW
第2会場	10:30-12:00 AMで新しいモノづくりのゴールドラッシュが来る! 早い者勝ち SP	11:00-12:00 ①製造業における協働ロボット、ロボットの活用事例、自動化提案 ②ファナック工場でのデータ活用改善事例 SP	11:00-12:00 加工品質向上と高効率化を両立する最新工具と活用事例 TW
	13:00-14:00 バイオプラスチック製品の国内事例と成形技術 SP	13:00-14:00 ガンプラの進化は金型の進化。工作機械が職人を猛追。人は逃げきれぬのか? SP	13:00-14:00 Challenge to the future ~工作機械メーカーからの提案~② SP
	15:00-16:00 インド進出セミナー Die & Mould India 2026 展示会説明 SP	15:30-16:30 「持続可能な製造業 - 匠の技と革新技術の調和 -」日本のプレス部品づくりの未来のシナリオとは SP	15:00-16:00 Cimatronの力で加速するプレス金型設計: 工期50%短縮を実現! TW

MOLDINO The Edge To Innovation
高硬度鋼加工用超硬ボールエンドミル IXエポックディープボール-TH3
IX-EPDB-TH3
超硬を 超える
超硬
次世代超硬合金
IXシリーズ誕生
株式会社 MOLDINO
INTERMOLD 2025 東京ビッグサイト5-157

生産性向上・人材育成・技術継承を実現する
3D CAD/CAMシステム **TopSolid**
製品・設備設計 3次元設計支援システム TopSolid'Design
金型設計 プラスチック・プレス・ダイカスト金型設計支援システム TopSolid'Mold TopSolid'Progress
部品加工 3次元ソリッドCAD/CAMシステム TopSolid'Cam
二次元コードから各製品の導入事例をご覧ください。
KODAMA CORPORATION
INTERMOLD 2025 小間番号 4-362

大は小を叶える

大きくなっても高精度

来て見て触れて感じる

中～大型サイズ
小型多数個取りニーズにも対応
精度のYASDAならではのご提案!

高精度はめ合いサンプル
X軸1/1000mmの追従性
「キサゲ」体験コーナー

YASDAの未来コンセプト

- [製造業のDX推進] 自社の問題が見えていますか? OpeNet体験コーナー
- 初出展 Labonos ラボノス [CAMレス/樹脂型] フォームコントロールXデモ
- YASDA 機外芯出しコンセプト



YBM 9150V Ver.01

YASDA 安田工業株式会社
www.yasda.co.jp

インターモールド2025
4.16日～18日 東京ビッグサイト

小間番号
5-168

「特殊表面処理」

様々なニーズにお応えします!

特殊表面処理のラインナップ
15種類以上!

耐摩耗性・離型性
ガス焼け・付着抑制等々の
様々な機能性付与!

サンプル
配布

評価試験
実施

表面処理ならまかせて!

HPはこちらから

株式会社 旭プレジジョン

重量物をスッキリ収納

金型の保管
管理にも最適

1段あたり
最大8トン
超重量物収納ストッカー

北川精機

https://kitagawaseiki.co.jp

INTERMOLD 2025
小間番号
5-253

Message

日本AM協会 会長
永安 悟

AM実用——一歩踏み出す契機

はじめに、AM EXPO 心より厚く御礼申し上げます。東京の開催に際し、ご後援をいただきました経済産業省をはじめ、出展企業、セミナーご登壇者、共催運営をいたしたく、インターモールド振興会の多大なるご支援、ご協力を賜り、この展示会は多くあります。国内のAM実製品活用が進まないうち、当協会は他の展示会関係者やAM業界並びにAMユーザーやAM研究機関と連携し、AM普及促進に向けての、なぜ活用が進まないのか」を解決するために、その原因と対応方法（AM活用事例解説やAM取り組みポイントなど）をテーマにしています。

AM EXPOは2024年に名古屋で初めて開催し、今年2回目の開催となります。積層造形（AM）が注目される展示会は多くありますが、国内のAM実製品活用が進まないうち、当協会は他の展示会関係者やAM業界並びにAMユーザーやAM研究機関と連携し、AM普及促進に向けての、なぜ活用が進まないのか」を解決するために、その原因と対応方法（AM活用事例解説やAM取り組みポイントなど）をテーマにしています。

AM EXPOは2024年に名古屋で初めて開催し、今年2回目の開催となります。積層造形（AM）が注目される展示会は多くありますが、国内のAM実製品活用が進まないうち、当協会は他の展示会関係者やAM業界並びにAMユーザーやAM研究機関と連携し、AM普及促進に向けての、なぜ活用が進まないのか」を解決するために、その原因と対応方法（AM活用事例解説やAM取り組みポイントなど）をテーマにしています。

日本金属プレス工業協会 会長
高木 龍一

ビッグチャンス創出——変革

はじめに、展示会を開催するにあたり、経済産業省をはじめ多くの関係者の皆さまのご支援とご尽力に心より感謝申し上げます。

この展示会は、金型産業と材料産業の未来を担う技術者や経営者、メーカー、関係者、経営者が一層に集まることで、情報交換やビジネスマッチングの場として大いに期待されています。

今年のINTERMOLDのテーマは「技術連携で変革をリードする」です。持続可能な技術開発と新素材などの活用を通じて、関連業界の変革を目指しています。展示会を通じてビッグチャンスを出し、皆さまに有意義な時間を過ごしていただけることを心から願っております。

また、昨年開催した金属プレス国際会議では「持続可能な製造業—匠の技と革新技術の調和」をテーマに6カ国の代表が話し合い、問題意識を共有しました。その流れを引き継ぎ、「日本のプレス部品づくりの未来のシナリオとは」と題したパネルディスカッションも開催いたします。

各社の展示ブースをご覧ください。最新の技術動向を肌で感じて、17日に行われるプレスサロン（交流会）で思いを語り合ってください。

皆さまのご参加とご協力をいただきながら、この展示会が大成功を収め、今後の技術革新と産業発展に貢献できることを確信しております。最後になりますが、皆さまの健康とご多幸をお祈り申し上げます。

日本金型工業会 会長
山中 雅仁

差別化・世界で勝てる技術力

このたびは「INTERMOLD」を滞りなく迎えることができ、O.L.D.、金型展、金属プレス加工技術展、AM EXPO、加平技術展、AM EXPO、東京、開催に際し、関係諸君、戸ならびに各出展企業、関連諸団体の皆さまには、多大なご支援とご協力を賜り、開催の

変化、脱炭素化と資源循環社会への対応など、取り巻く環境に対して多くの提案とセミナーを通じた事例を紹介いたします。

そのうち、INTERMOLD2025では、「技術連携で変革をリードする」をテーマに、素形材産業界が連携して、最新技術の提案とセミナーを通じた事例を紹介いたします。

また期間中には、専門フェアを併設し、関連業界だけでなく異業種分野との交流会なども設けております。新たな発見や気づきにより、ビジネス促進につなげていただければ幸いです。

最後になりますが、すべてのモノづくり産業および関連業界のますますのご隆昌を祈念し、ごあいさつさせていただきます。

INTERMOLD/金型展/金属プレス加工技術展/AM EXPO東京



防振機構付きホルダで、

びびりを抑えたエンドミル加工を。



防振機構内蔵 ヘッド交換式ホルダ

スマートダンパー スクリューオンホルダ

低抵抗でシャープな切れ味。強靭さを兼ね備えた「刃先交換式カッタ」

フルカットミル スクリューオン

多機能 3D カッタ FCR型
カッタ径：φ16～φ32

横送り加工用カッタ FCM型
カッタ径：φ16～φ40

2025/4/16-18
東京ビッグサイト

INTERMOLD 2025
東5ホール 241

小ロット品から量産品まで処理品に合わせて最適な炉をご提案

小型真空熱処理炉 処理量：30kg/グロス
NVF-30P

大型真空熱処理炉 処理量：1000kg/グロス
NVF-1000PC

提案から設計・製造・メンテナンスまで
買したメーカーで安心できるサービスを
ご提供。

CVDコーティング、金型・量産部品の真空熱処理

自社製CVDコーティング装置、真空熱処理炉にて 受託加工、承ります。

新第1工場 本格稼働 生産性アップ

TiN/TiCN/TiCコーティング ●耐摩耗性 ●耐熱性 ●耐腐食性

CVDコーティングの実用例 溶着対策に効果的

製品の長寿命化!

金型・金属部品の真空熱処理

- ハイスの焼入れ(毎日対応)
- 処理炉のチャージ貸し
- 少量対応 ●固溶化熱処理
- 析出硬化処理

トリミングタイス SKH51

アミ治具 SUS304

中日本炉工業株式会社

0120-38-5141

本社・工場 〒490-1203 愛知県あま市木折八割町8
TEL (052) 444-5141 FAX (052) 444-1917
熱処理技術部 TEL (052) 444-7561 FAX (052) 444-4683
https://www.nakanihon-ro.co.jp info@nakanihon-ro.co.jp

販売元
BIG DAISHOWA Japan 株式会社

東京本社/東京都豊島区駒込3-23-1 BIG DAISHOWAビル TEL.03-5961-1323
大阪本社/大阪府西成区石切3-6-20 TEL.072-966-5800
支店/東北・北関東・東京・神奈川・長野・静岡・名古屋・北陸・大阪・岡山・広島・九州
物流センター

海外拠点/タイオフィス(タイランド) 大昭和精機貿易(上海)有限公司(上海、広東、瀋陽、成都、武漢、天津)
BIG DAISHOWA (ドイツ、アメリカ) BIG KAISER (スイス)

www.big-daishowa.co.jp

中日本炉工業株式会社

0120-38-5141

本社・工場 〒490-1203 愛知県あま市木折八割町8
TEL (052) 444-5141 FAX (052) 444-1917
熱処理技術部 TEL (052) 444-7561 FAX (052) 444-4683
https://www.nakanihon-ro.co.jp info@nakanihon-ro.co.jp

ASR ANAB ISO9001

SNS始めました

注目製品 長時間の水切りワイヤー放電加工用 超硬合金 フジロイVG51

紹介動画

超硬耐摩耗工具のリーディングカンパニー

電池関連金型・工具

INTERMOLD 2025 | 東5ホール 5-124 **FUJILLOY** 富士ダイス株式会社



INTERMOLD 金型展 金属プレス加工技術展 AM EXPO 東京

有力企業の製品・技術 順不同

Y-MOLD

Y-MOLDは金型の製造や販売を行い、マイクロメートルレベルの各種微細加工、精密金型などさまざまな微細加工技術を誇る。会場では「マイクロロード」や「マイクロフロー」、微細溝加工を紹介する。

同社は、より微細でより美しい加工を追い求め、工具・CAM・環境・設備を最適化し、長年培ってきた微細加工技術のノウハウと洗練された感性を融合させている。また、微細形状成形の課題に対応するため、H&C装置なども設備した「微細成形ラボ」を併設し、短期間で量産を支援している。

金型展

モールドキャスト

モールドキャストは特許技術を用いて、効率的な熱交換製品を提供している。加熱加工のみで金属同士を接着する拡散接合技術により、接着剤やロウ材などを使用せずに母材と同等の接合強度を持つ接合金型の製作が可能。これにより、金型内の冷却自由度を向上させ、複雑形状に適した流路配置を実現する。こうした接合技術を生かした技術や製法開発に対し積極的に取り組んでいる。

会場では3次元流路内蔵金型や異種金属接合金型、流路内蔵型ダイカスト製ヒートシンクなどのサンプル品を多数展示する。

旭プレジジョン

旭プレジジョンはゴム・樹脂成形金型に採用されている、タンゲステン合金めっき「ニウフォスII」を展開する。製品脱型時の離型性向上や離型剤使用量の低減が可能。さらには、ハロゲン系ガスへの耐食性被膜を有する。金型の耐食性を高めつつ生産現場のコスト減に貢献する。

同社は近年ヒートサイクル向上を目的に採用が進む「ベリリウム銅」への施工や、母材を粗化させない剥離技術を持つ。さらに高剛性の「レジフレム」やフッ素とセラミック系の「テックノNACコート」からなる表面処理なども提案する。

INTERMOLD

日進工具

日進工具は樹脂金型材料として使用される、SUS420J2 52HRC相当の直彫り加工に特化したエンドミル「MPXコーティング SUS420用ロングネックボールエンドミル XRBH230」を開発、24年秋に発売した。

SUS420J2は磨き性に優れており鏡面が必要な樹脂金型に用いられるが、被削性は悪く長寿命な工具が要望されていた。同工具はその要望に応え、SUS420J2用として特化した新開発のMPXコーティングと最適刃先形状で、従来比2倍以上の長寿命化に成功している。

コダマコーポレーション

コダマコーポレーションは「設計から製造までデータの一元管理」でものづくりを委ねる「データ」に、統合されたコンピュータ利用設計・製造(CAD/CAM)による手戻りのないモノづくりを提案する。

「TopSolidシリーズ」は2次元(2D)/3次元(3D)CAD、3軸/5軸CAM、マシンシミュレーションが統合されたシステム。

内蔵のPDM(製品データ管理)システムによってすべてのデータが連動し、工数の短縮が可能で「モノ」のなごみを実現する。

INTERMOLD

MOLDINO

MOLDINOはギガキャストや燃料電池セパレーター金型、多様な穴明け加工のソリューションを中心に、製造費削減「PRODUCTION」(プロダクション)50%を実現する最新商品群を加工ワークにも展示する。

2月に発売した高硬度鋼加工用超硬ボールエンドミル「EXEED B-DH3」は、新開発の超々微粒超硬素材の採用により、耐摩耗性と耐欠損性を高次元で両立する。特に60HRCクラスの高硬度鋼加工で工具寿命が飛躍的に向上するため、高価なCBN工具からの置き換えにも期待できる。

富士ダイス

富士ダイスは24年6月に75周年を迎えた、超硬耐摩耗工具で国内トップシェアを誇る「VBM 9150V」を開発から自社で行った、長時間の水切りワイヤー放電加工用の超硬合金「フジロイVG51」を出品する。

同製品は、耐摩耗性と靱性、耐食性に優れており、長時間の水切りワイヤー放電加工後も高品質な表面粗さを実現し、金型の加工コスト削減と長寿命化に貢献する。

また、電池の金属ケースや電池の原料となる粉末を製造する金型も展示する。各種電池金型の量産に対応できる。

北川精機

北川精機の重畳「ソリッドストック1」は、設置場所や収納物のサイズ、重量に合わせた高さや幅、段数、耐荷重など、自在なカスタマイズが可能。鋼材などの材料や加工済製品などを効率よく収納・管理することができる。

会場では、1段あたり最大8tまで収納可能な、業界トップクラスの積載荷重を持つ「超重量物収納ストック」を紹介する。

金型のような重畳物でも、工場の上層空間を活用した保管が可能となり、工場内スペースの有効活用にも貢献する。

大昭和精機

大昭和精機の「スマートダンパー・スクリューホルダー」は「2面拘束BETビッグプラスホルダー」と「HSKホルダー」を取りそろえ、ヘッド交換式カッターを確実にクランプする。

交換式カッターは低抵抗で切れ味に優れたフルカットミルFCR型とFCM型。ホルダーは剛性と干渉回避に優れたテーパ形状の防振機構内蔵スマートダンパーヘッドとの組み合わせにより、一般的な超硬シャンクタイプと比べ、びびりを抑えた良好な加工が可能。突き出しの長い加工でも、快適で安定した切削が行える。

中日本炉工業

中日本炉工業はオーダーメイドに特化した工業炉を製作している。高精度・高品質な熱処理の実現に貢献し、多様な産業分野で活用されている。

また、近年では金属以外の製造品を処理する設備開発協力にも注力している。熱処理炉製造で培った温度コントロールやガスコントロールの技術を活用。顧客の要望に沿って、さまざまな設備を開発してきた。

同社は「お客さまの『やりたい』『不可能』を可能にする最先端の技術を支える技術集団」を掲げ、今後も挑戦を続けていく。

安田工業

安田工業は大型サイズのモールドベイスやダイセットプレートの高速・高精度加工を目的に「VBM 9150V」を開発した。

スピンドルハウジング、サドルなど、トップビーム上の移動体を軽量化するとともに、コラムとトップビームの一体化により剛性を向上させ、高速かつ高精度な動きを可能にしている。

会場では高精度はめ合いのサンプルや、X軸1000分の1mmの追従性体験「キサゲ体験コーナー」など「来て、見て・触れて・感じる」ことができる展示を行う。

接合だから成しえた 板 Technique

◆金型のリブ形状等、冷却流路の配置困難な箇所へ 高精度、微細流路の設置が可能(流路径φ0.15mm~)

◆拡散接合による 新技術・新製品や マルチマテリアルの 開発もご支援致します。

MOLE'S ACT モールドキャスト

ハイサイクル スプルーブッシュ

株式会社 MOLE'S ACT 〒392-0131 長野県諏訪市大字湖南5902-1 TEL:0266-58-5058(代) FAX:0266-58-6825 Email:info@moles-act.co.jp URL:www.moles-act.co.jp ブースNo 4-541-62

NS TOOL

MPX コーティング

SUS420用 ロングネックボールエンドミル XRBH230 New

70 Anniversary おかげさまで70周年

超微細加工なら

社名変更のお知らせ 弊社は2025年4月3日(木)より社名を「Y-MOLD株式会社」(ワイモールド)に変更いたしました。これからも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

マイクロ流路金型 流路幅100μm×100μm 凸形状 面粗さ:Ra0.02μm 材質:ステンレス材

マイクロロードスプルーブッシュ 凸形状:φ0.5mm×長さ1mm 面粗さ:Ra0.02μm 材質:ステンレス材

へール加工

ミクロンの最高峰へ ±0.001mmのものづくり

Y-MOLD 株式会社

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島402-12 TEL:0265-36-5476 FAX:0265-36-6309 ブースNo. 東5ホール 5-135

耐摩耗性は新たな次元へ

SUS420J2 52HRC 相当 くわしくはこちら

従来比2倍以上 驚異的な寿命を実現

INTERMOLD 2025 「つくる」の先をつくる

小間番号 5-143 日進工具株式会社